

令和3年度グランドデザイン



経営の重点

- ①ESD(持続可能な開発のための教育)の推進
- ②子どもたちのよさや可能性を引き出し伸ばす教育
- ③教育を核とした持続可能な地域社会の構築

八千代台小学校教育目標

未来をひらく人間の育成

めざす教師の姿

想像力を働かせて人を思いやり、愛情と熱意にあふれる教師
～子どもに親しまれ、親に信頼され、同僚と学び合う教師～

- ①人間的な温かさを持つ教師
- ②常に学ぶ教師
- ③子どもの育つ姿で語る教師

めざす子どもの姿

- ①仲良く助け合う(知り合い、考え合い、伝え合い、支え合う)
- ②考え創り出す(わからないこと・疑問を大切に)
- ③体を鍛える(健康でたくましい、最後までやり抜く)

めざす学校の姿

- ①明るい学校
元気で楽しい教室・思いやる心
- ②活力ある学校
授業に活気があり、生き生きとした学び合いのある教室
- ③規律のある学校
学習と生活のけじめ・校舎内外の美化と整理

学習指導要領の趣旨を生かした全職員の協働体制による学校運営

(1)確かな学力の向上

- 確かな学力の保証(わかった、できた喜び)によってこそ、本物の「学ぶ意欲」は作られる。「学ぶ意欲」の高まりによってこそ学力は確かなものになっていく。
- ①教師の授業力の向上(授業改善プログラム)
児童の学力や学ぶ意欲の向上は、教師の授業力にかかっている。
・学力向上を図る提案授業を全員が行う。(授業力アップセミナー)
・具体的な目標を設定し、達成のための手だてを工夫し、評価を行い、達成度を上げる。
 - ②国語科および特別支援教育研究の推進
・研究主題「共に学び合い、豊かに表現できる子どもの育成」
・豊かな言語活動を通して、確かな言葉の力を育成する。
・授業研究を通して、実践を深める。
 - ③基礎基本の「習得」を図る指導方法の工夫
・算数の授業で、全学級少人数指導を行う。
・週1回20分の「全校ドリルタイム」学力において特別に配慮を要する子どもへの全校体制による個別指導の充実。
・基礎となる四則計算の定着による理解力の向上(八小計算検定)
 - ④思考力をつける「活用」の授業実践
 - ⑤家庭学習充実への支援と、授業と家庭学習の効果的な連携
・音読カードの全校実施、家庭との連携の工夫
・予習、復習を踏まえた授業の改善
 - ⑥読書指導の充実
・週4回の朝読書の実施。
・地域ボランティアおよび読書指導員による読み聞かせの充実

(2)豊かな心の育成

- ①落ち着いた学校生活の保証「豊かな心づくりの土台」
・規範意識、生活習慣の育成を、月別目標と道徳年間計画の関連、全校体制の構築で充実させる。
- ②心づくりの3本柱「あいさつ」「歌声」「清掃」
・「あいさついきいきカード」「あいさつ運動」
・歌が思い切り歌えるまっすぐな心づくり
・安心して自分を表現できる学級づくり
・清掃を奉仕の心・勤労観を養う場とする。清掃プロジェクトによる年6回の強調週間の取組。
- ③いじめを見逃さない学校体制づくり
・正しいことが正しいと言える学校生活の保証
・小さな変化も情報交換するシステムの構築
・児童との信頼関係を築き、教育相談を効果的に伝える教師のスキルの育成。
- ④一人一人のよさを見つけて表彰する「つばき賞」
- ⑤子どもの活躍の場を多く設定。
・社会性や自治的な能力、自己肯定感を育てる。
・学級活動の充実による自己表現力の育成
- ⑥自己の生き方について考えさせる心の教育の充実
・道徳の授業の充実と全クラス年1回の授業公開
・全ての教育活動を「生き方指導」として見直すキャリア教育の推進
- ⑦「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」
人権教育の推進

(3)健やかな体の育成

- ①健康安全教育の推進
・担任と栄養士等による「食育」の授業実践
・外部講師を活用した「交通安全・薬物・防犯教育」の実践
・児童の危険予測回避能力を身につけさせる安全教育の充実
・養護教諭を中心とした保健目標への全校的な取組
・家庭での生活状況を記録する「いきいきカード」の内容の充実、効果的な活用など、家庭への啓発活動の推進
・学校保健安全計画の活用
- ②体力向上を意図した体育指導の充実
・体力向上を図り運動量を確保する体育の授業
・わくわくタイムでの運動の充実
・運動や体育行事への意欲化を図る手だての工夫
・総合体育祭の取組の充実
・全校による体力向上を図る計画的、継続的な取組の工夫

(4)特別支援教育の充実

- 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育
- ①子どものよさに寄りそい、必要な支援の充実を全校体制で行う。
・丁寧な情報交換、事例研究により、適切な指導を職員の連携プレーで行うシステムの構築。
 - ②月1回の全職員研修体制
・事例研修(生徒指導会議)
 - ③個別の指導計画の作成と活用
・効果的な活用につなぐ指導計画の作成
・全校体制充実のための指導計画の活用方法の工夫
 - ④特別支援学級・普通学級の交流及び共同学習の推進
 - ⑤ユニバーサルデザインの授業をめざす
 - ⑥関係機関との連携

【職員のモラールアップ】

- ①温かく支え合う人間関係づくり
- ②働き方改革の推進
- ③子どもと向き合う時間の確保
- ④研究・研修の充実
- ⑤課題解決を図る各推進委員会の機動的な活動
- ⑥課題発見と組織の活性化
- ⑦ICT活用による効率化

【学校評価を生かした組織マネジメント】

- ①評価結果を踏まえた学校経営計画の立案。
- ②保護者アンケートの内容を実態に即したものにし、アンケート結果をもとに自己評価する。
- ③改善策を示し、結果を公表する。(PDCAサイクルを重視する)

【危機管理】

- 「報告・連絡・相談」の充実
- ①安全指導・安全管理の徹底
 - ②感染症予防の徹底
 - ③教職員のモラールアップ
・ボトムアップによる推進
 - ④情報管理の見直しと徹底
 - ⑤会計管理の厳正化
 - ⑥通学路の安全の見直し
 - ⑦緊急配信メールの活用推進

【家庭・地域との連携】信頼される学校づくり

- | | |
|--|--|
| <p>家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ①日常的な家庭との連絡の充実 ②学校理解を深めてもらう手だての充実 ③保護者に寄りそった相談活動の実践 ④保護者のニーズの把握 | <p>地域との連携「地域と共に歩む学校づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域ぐるみ学校安全会議の充実 ②学校評議員会議を運営に生かす ③連携して子どもを育てる実践
地域活動 あいさつ運動 ④地域の教育力を生かした教育活動の推進 ⑤ホームページの更新の充実 |
|--|--|